

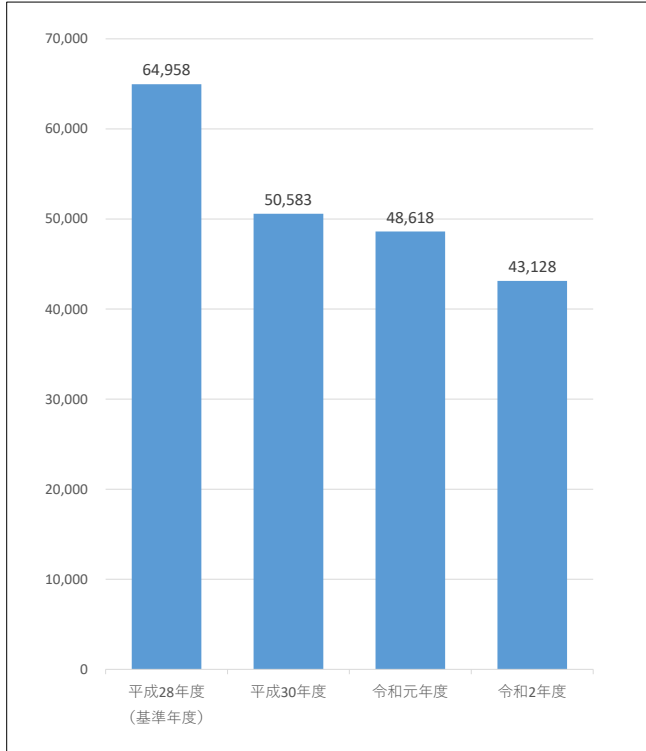
甲州市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

令和2年度結果報告

甲 州 市

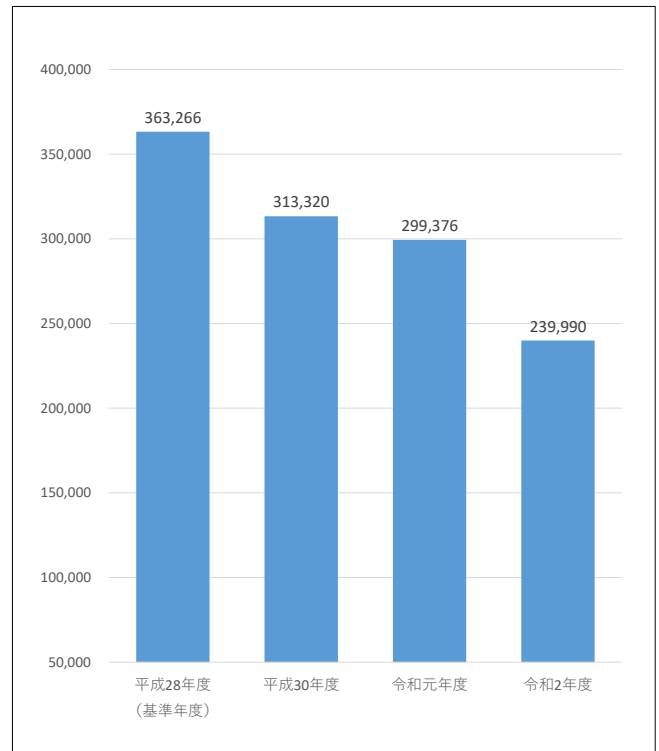
○ 活動種類別の使用量及び二酸化炭素排出量年度ごとの比較 (令和2年度報告)

ガソリン ℓ



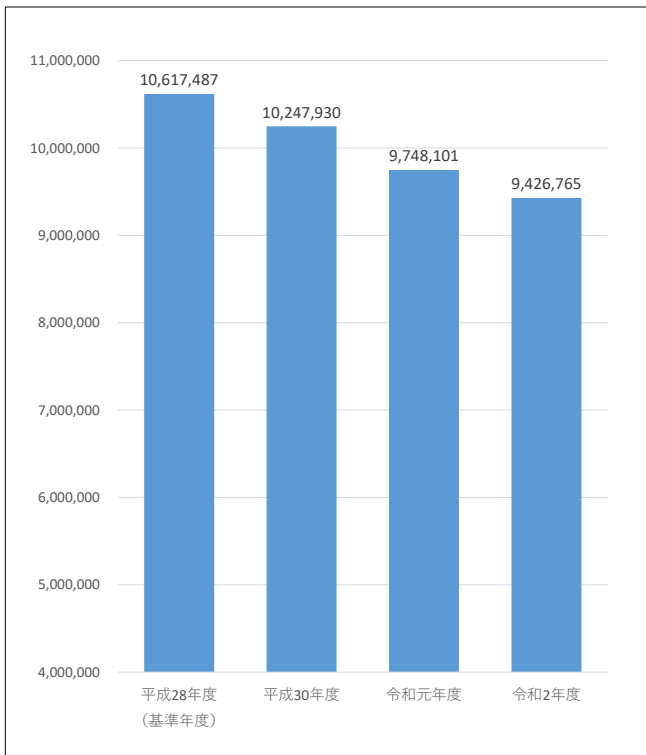
ガソリンの使用量については、令和2年度43,128ℓ使用しました。平成28年度(基準年度)の64,958ℓに対して33.6%減少し、令和元年度と比較し11.3%減少しています

灯油 ℓ



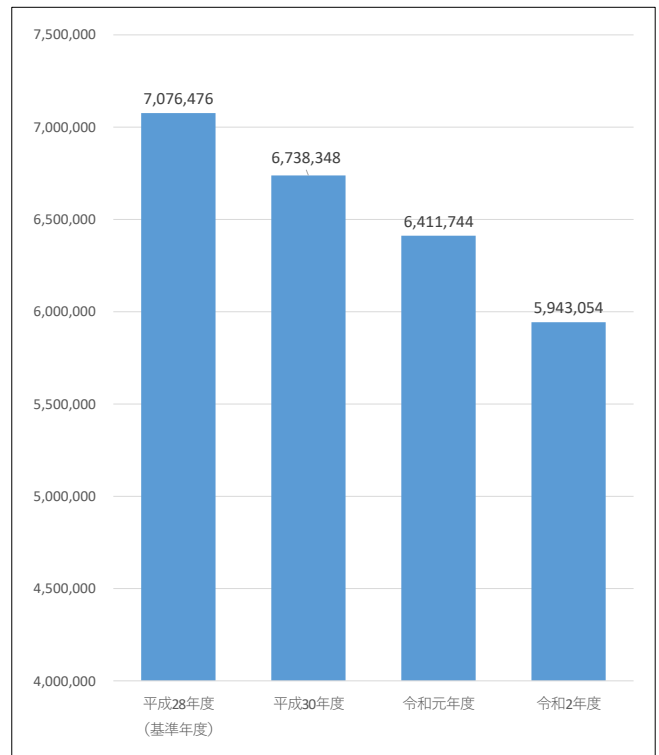
灯油の使用量については、令和2年度は239,990ℓ使用しました。平成28年度(基準年度)の363,266ℓに対して33.9%減少し、令和元年度と比較し19.8%減少しています。

電気の使用量 kwh



電気の使用量については、令和2年度は9,426,765kWh使用しました。平成28年度(基準年度)の10,617,487kWhに対して11.2%減少し、令和元年度と比較し減少しています。

二酸化炭素排出量 kg-co2

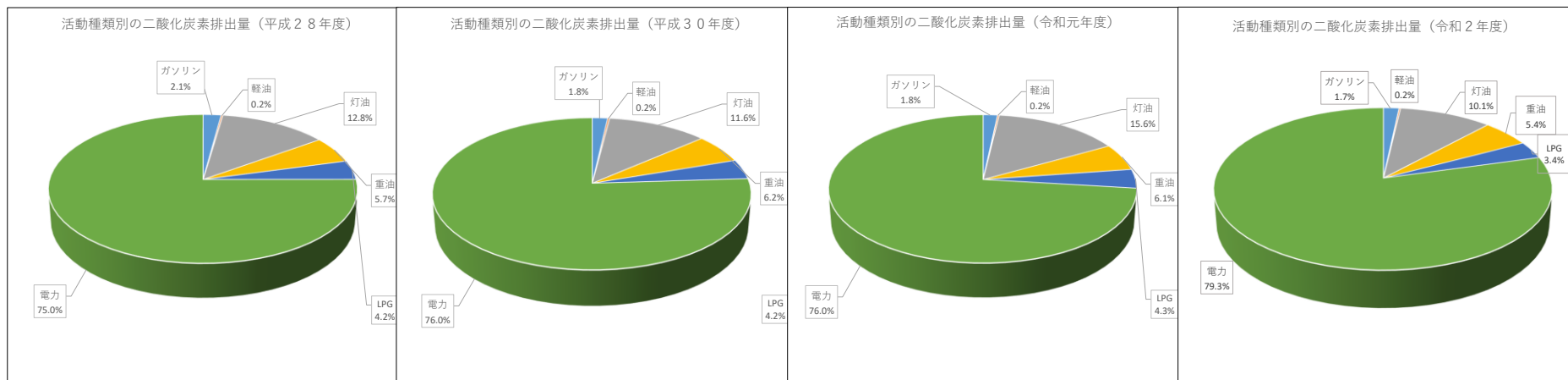


二酸化炭素の排出量については、令和2年度は5,943,054kg-co2でした。平成28年度(基準年度)の7,076,476kg-co2に対して16.0%減少し、令和元年度と比較し7.3%減少しています。

○令和2年度の二酸化炭素排出量が前年より減少した主な要因として、公用車の集中管理システムの導入、庁舎内の温度管理の徹底、残業時間の短縮などで節電につながったことがあげられます。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染を予防する観点から市内公共施設(観光施設や体育施設等)の休館等により稼働日数が減少したことや、オンラインによる会議、研修が開催されるようになったことも要因の一つであると考えられます。

活動種類別の二酸化炭素排出量

活動の種類		平成28年度				平成30年度				令和元年度				令和2年度			
		活動量	二酸化炭素排出量	率	対28年度比	活動量	二酸化炭素排出量	率	対28年度比	活動量	二酸化炭素排出量	率	対28年度比	活動量	二酸化炭素排出量	率	対28年度比
燃料の使用	公用車他	ガソリン	64,958 ㍓	150,702 kg-CO2	2.1%	50,583 ㍓	117,352 kg-CO2	1.8%	-22.1%	48,618 ㍓	112,793 kg-CO2	1.8%	-25.2%	43,128 ㍓	100,057 kg-CO2	1.7%	-33.6%
		軽油	5,352 ㍓	13,808 kg-CO2	0.2%	5,354 ㍓	13,813 kg-CO2	0.2%	0.0%	4,808 ㍓	12,404 kg-CO2	0.2%	-10.2%	3,766 ㍓	9,716 kg-CO2	0.2%	-29.6%
	施設利用・運営	灯油	363,266 ㍓	904,532 kg-CO2	12.8%	313,320 ㍓	780,168 kg-CO2	11.6%	-13.7%	299,376 ㍓	745,446 kg-CO2	15.6%	-17.6%	239,990 ㍓	597,576 kg-CO2	10.1%	-33.9%
		重油	149,000 ㍓	403,790 kg-CO2	5.7%	155,000 ㍓	420,050 kg-CO2	6.2%	4.0%	144,000 ㍓	390,240 kg-CO2	6.1%	-3.4%	117,400 ㍓	318,154 kg-CO2	5.4%	-21.2%
		LPG	45,030 m3	294,901 kg-CO2	4.2%	43,213 m3	283,000 kg-CO2	4.2%	-4.0%	42,268 m3	276,810 kg-CO2	4.3%	-6.1%	31,176 m3	204,170 kg-CO2	3.4%	-30.8%
電気の使用		10,617,487 kWh	5,308,744 kg-CO2	75.0%	10,247,930 kWh	5,123,965 kg-CO2	76.0%	-3.5%	9,748,101 kWh	4,874,051 kg-CO2	76.0%	-8.2%	9,426,765 kWh	4,713,382 kg-CO2	79.3%	-11.2%	
合計			7,076,476 kg-CO2	100.0%		6,738,348 kg-CO2	100.0%	-4.8%		6,411,744 kg-CO2	100.0%	-9.4%		5,943,054 kg-CO2	100.0%	-16.0%	



(1) 温室効果ガス総排出量の算定範囲及び算定方法

本市の事務・事業の範囲における温室効果ガスの排出量の算定は、「温室効果ガスの総排出量算定方法ガイドライン」に準拠して行いました。

(2) 温室効果ガス総排出量及び内訳

本市の事務・事業のうち、二酸化炭素が排出される活動種類ごとに、活動量と二酸化炭素排出量を求めた結果は、図表-1に示すとおりです。

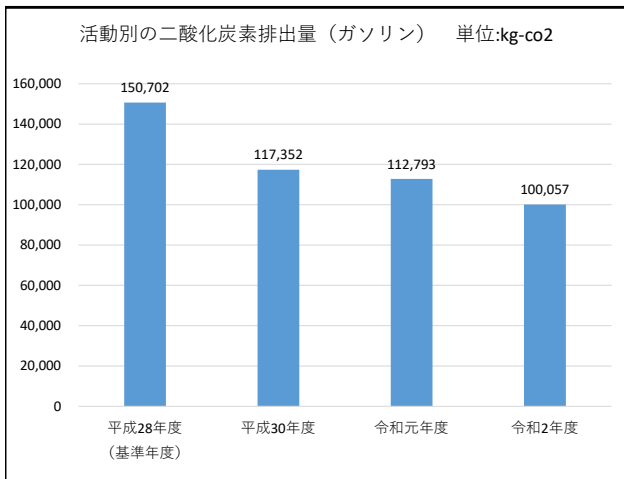
平成28年度の二酸化炭素総排出量は、7,076t、そのうち電気の使用量からの総排出量の割合が最も高く、75.0%を占め、次いで施設暖房に用いられる灯油からの排出量が12.8%となっています。

平成30年度の二酸化炭素総排出量は、6,727t、そのうち電気の使用量からの総排出量の割合が最も高く、76.0%を占め、次いで施設暖房に用いられる灯油からの排出量が11.6%となっています。

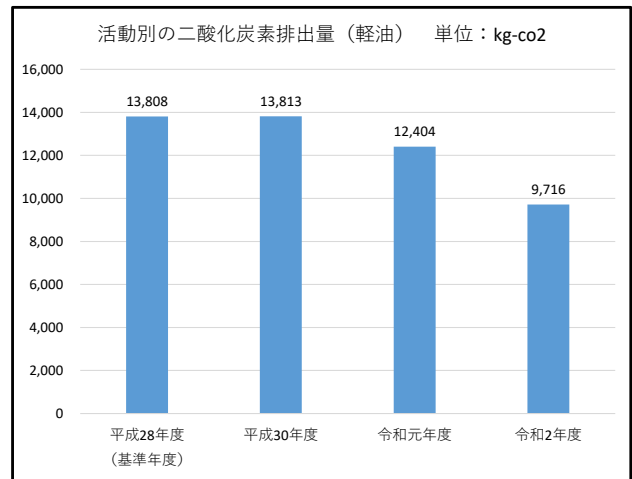
令和元年度の二酸化炭素総排出量は、6,411t、そのうち電気の使用量からの総排出量の割合が最も高く、76.0%を占め、次いで施設暖房に用いられる灯油からの排出量が15.6%となっています。

令和2年度の二酸化炭素排出量は、5,943t、そのうち電気の使用量からの総排出量の割合が最も高く、79.3%を占め、次いで施設暖房で用いられる灯油からの排出量が10.1%となっています。

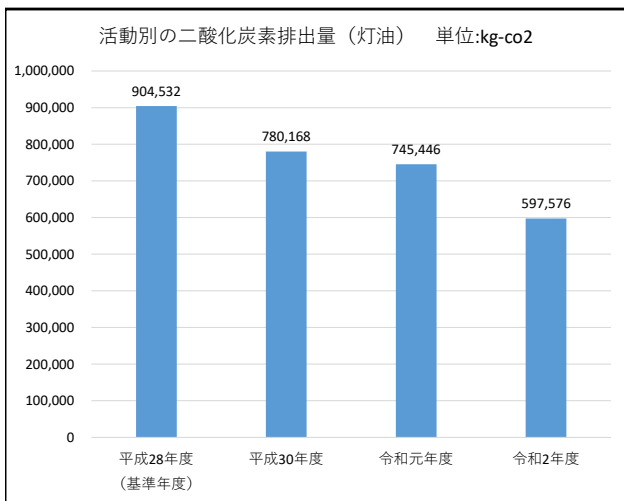
※令和2年度の実績において、平成28年度比で10%の削減目標を達成しました。目標は達成しましたが、引き続き温室効果ガスの排出量削減に向け取り組んでいく必要があります。



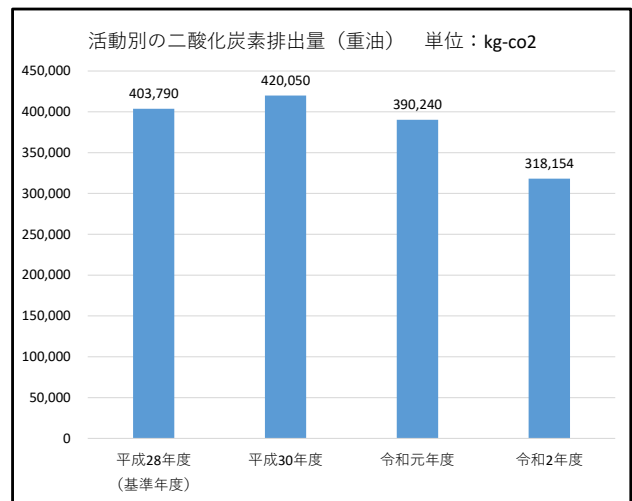
※ガソリンからの二酸化炭素排出量は、令和2年度100,057kg-co2でした。
平成28年度（基準年度）の150,702kg-co2に対して33.6%減少し、令和元年度と比較し11.2%減少しています。



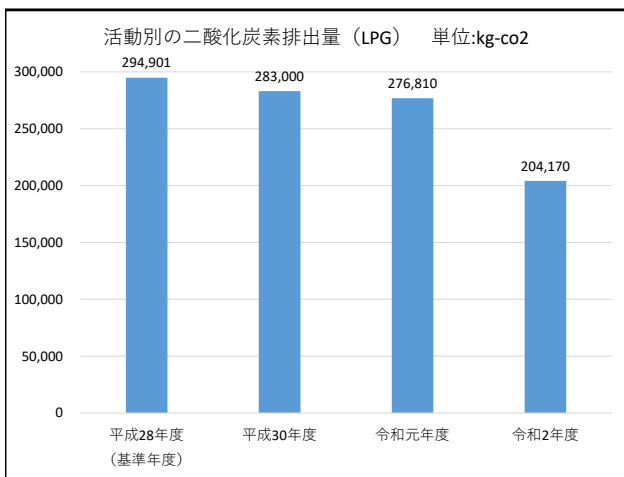
※軽油からの二酸化炭素排出量は、令和2年度9,716kg-co2でした。
平成28年度（基準年度）の13,808kg-co2に対して29.6%減少し、令和元年度と比較し21.7%減少しています。



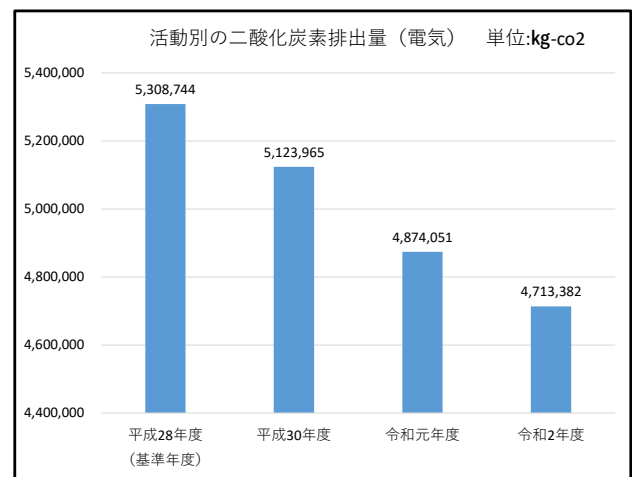
※灯油からの二酸化炭素排出量は597,576kg-co2でした。
平成28年度（基準年度）の904,532kg-co2に対して33.9%減少し、令和元年度と比較し19.8%減少しています。



※重油からの二酸化炭素排出量は318,154kg-co2でした。
平成28年度（基準年度）の403,790kg-co2に対して21.2%減少し、令和元年度と比較し18.4%減少しています。



※LPGからの二酸化炭素排出量は204,170kg-co2でした。
平成28年度（基準年度）の294,901kg-co2に対して30.7%減少し、令和元年度と比較し26.2%減少しています。



※電気からの二酸化炭素排出量は4,713,382kg-co2でした。
平成28年度（基準年度）の5,308,744kg-co2に対して11.2%減少し、令和元年度と比較し3.2%減少しています。

活動の種類	
燃料使用	ガソリン
	軽油
	灯油
	重油
	LPG
電気の使用	

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部の公共施設等（文化施設・図書館、体育施設福祉施設、観光施設・温泉）の利用の制限（休館等）を実施したことによる電気使用量等の減少が含まれています。